



心豊かに育ちあう

# 沢の子

令和7年度 重点目標

“すすんで考え学びあう、  
笑顔あふれる”  
子どもの育成

余市町立沢町小学校 令和8年1月29日(木) 第10号

## 夢に向かって

校長 森木 真也

新しい年を迎え、地域の皆様、保護者の皆様には、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。本年が皆様にとって幸多い年となりますようご祈念いたします。

広島カープで活躍した黒田博樹投手が座右の銘とした「雪に耐えて梅花麗し」は、西郷隆盛の言葉として有名です。薩摩藩の下級武士だった隆盛が奄美大島に流されながらも、薩長同盟や江戸無血開城の幕末の活躍から明治政府でも重要な役職に就く人生が思い浮かびます。イギリスに留学する甥に宛てた手紙の中で書かれた言葉のようです。厳しい雪の寒さに耐えてこそ、梅の花は美しく咲く。人間も、多くの困難を経験してこそ、大きなことを成し遂げられる。これは甥の成長を願う激励の言葉だったのでしょ。

先週からの今季最長寒波が今なお道路事情や交通障害などに影響しています。来週には立春を迎えますが北海道はまだ冬将軍が居座りそうですね。学校では、スキー学習が始まりグラウンドや竹鶴やキロロスキー場と、学年の成長に合わせた学習を行っています。転んでも力を振り絞り必死に起き上がろうとする姿は、つつい応援する気持ちで手を出したくなります。しかし、簡単に手を出すわけにはいきません。起き上がり方の習得はスキー授業の基本です。教員は、身に付けられるようにコツを伝え見守ることを優先にしなければなりません。終了後のスキーの片づけでも同じです。バンドを上手く止め、ストックと一つにして運ばなければなりません。子どもたちは一つ一つのステップを踏んで、苦手なことも乗り越えた向こうに楽しさが待っていることが多くあります。

3学期は学年のまとめや進学、進級に向けた準備の期間です。1年生は4月に入学する新しい1年生の手本となるための心構えを身に付けます。2年生は社会や理科が始まり、6時間授業が多くなります。生活をしっかり見直していかなければなりません。3年生は委員会やクラブが始まる4年生に向けて、先生の話をもっとしっかり聞いて動けるようにしていかなければなりません。4年生は宿泊研修に向けて、今よりも友だちとたくさん話して自分たちで計画する力を高めていきます。5年生は最高学年として中心となって行事や学校生活のリーダーを務める責任感を磨いていきます。そして、6年生は3学期が終わると中学生です。沢小での一日一日を大切に過ごし、小学校生活のまとめをすると同時に、中学生になるための準備をしっかりと進め、3月の卒業式を迎えます。

「1月は行く、2月は逃げる、3月は去る」と言います。あっという間の3学期ですが、子ども一人一人よさをさらに伸ばし、基礎学力をしっかりと身に付けて次の学年に進めるよう、精一杯努力してまいります。どの子ども3学期の目標を達成できるように、今後も応援してまいります。

生きることは 自分の花を咲かせること  
風雪に耐え 寒暑に耐え  
だれのものでもない 自分の花を咲かせよう

(詩人・坂村真民(さかむら しんみん)さん「生きることは」より)

そして、子どもたちがそれぞれの夢に向かい、躍動感あふれる年となることを願っています。地域の皆様、保護者の皆様、3学期もどうぞよろしく願いたします。